



およその大きさ 90×100×40cm

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・ 暗緑色
- ・ 一部に薄緑色の部分

表面の特ちょう

- ・ 滑らかで柔らかい (カッターナイフで傷がつく)
- ・ 無数の凹孔がある (鉱物の風化面)

側面の特ちょう

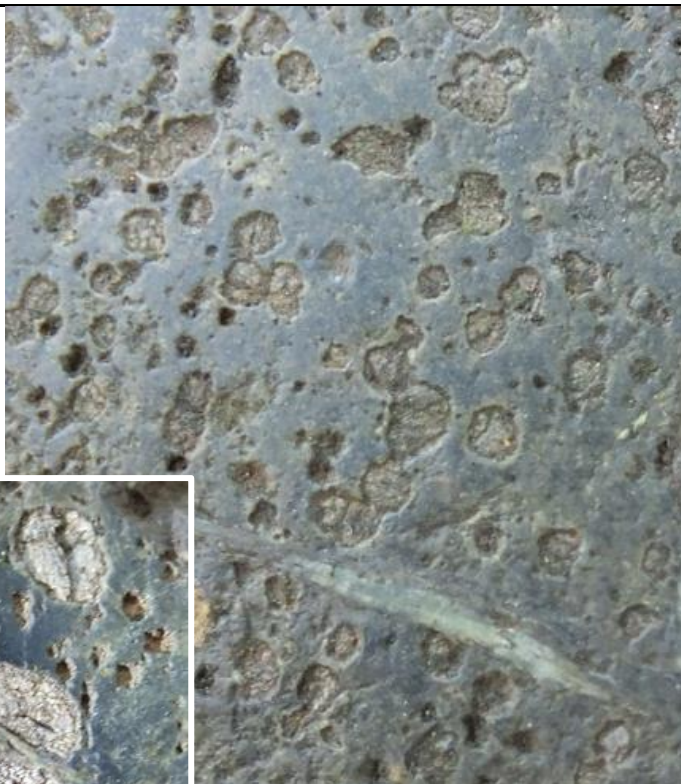
- ・ 表面と側面の差異はない

含まれているもの

- ・ 凹部に四角形の結晶の痕跡らしいものなどが見える
- ・ その一部にはへき開の痕跡も見える。劈開は直交に近いものもある

その他の特ちょう

- ・ 薄緑色の部分は、全体の表面の暗緑色の部分より硬い(カッターナイフで傷がつかない)
- * カッターナイフの硬さは



← 鉱物の風化面拡大

メモ

【観察メモ】

- ・ 凹部の結晶は風化した鉱物で結晶形と劈開から輝石と考えられる
- * この岩石はもともとマントル物質であったかんらん岩が地殻変動で地表近くまで持ち上げられ、変質 (蛇紋岩化) したものと考えられる。すなわち **マグマ起源ではない**ので、「深成岩」は不適當とする異論もある

岩石名

蛇紋岩 (深成岩?)